

〔物類稱呼^二動物〕鼯鼠むさ、び 畿内にて野衾^{のよすま}といふ、東國にても、ぐ。はと呼ぶ、西國にてそ。ば。を
し。き。といふ、薩摩にてもま。と。い。ふ。もまは、和名もみの轉じたるなるべし、

〔兔園小説^二集〕まみ穴、まみといふけだもの、和名考、并にねこまいたち和名考奇病^{附錄}

著作堂主人稿

鼯鼠は和名モミ、一名はむさ、びなり、^略中鼯鼠の和名は毛美なれども、いとふるくよりむさ、
びとのみ唱へたるにや、歌にもモミとはよます、萬葉集第三に、むさ、びは木ずるもとむとあし
引の山のさつをにあひにけるかも、といふ歌あるを見ても知るべし、しかれども古言は多く田
舎に遺るものなれば、むかし關東にては、鼯鼠ををさく、モミとのみいひしなるべし、その證は、
今も日光山のほとりにては、鼯鼠の老大なるものを、モモンクワアといへり、モモンは、モミの訛
なり、クワアはそが鳴く聲なるべし、又高老の義にてあらん、物の老大なるを高老を歴たりと
いふ是なり、さてこのもみを、下野にてはもんぐわあと唱へ、又武藏にては、まみといへるなるべ
し、^{モとマと}音通へり

〔和漢三才圖會^{四十二}〕鼯鼠 鼯鼠 耳鼠 鼯鼠 夷由 鶉 飛生鳥 和名毛美 俗云無左々

比 今云野衾 又云、毛毛加^略中

按鼯鼠擴肉翅於地如鼯衾、俗曰野衾、關東曰毛毛加、西國曰板折敷

一種 形色似鼯鼠^{雌雄大小如鼯}、大眼小耳、肉翅四足五指、尾如扇^{縮則二三寸、伸則等身長}、以掩頭背、如抱子時愛

子甚故雖捕己嘗不欲去、俗呼名飛鼯、食小鳥及樵椎等、乃能去其殼皮食、蓋此鼯鼠之老者乎、

〔重修本草綱目啓蒙^{三十二}〕鼯鼠 和名 鈔 名 ムサ、ビ 共同上 飛州 一名飛鼯^{同州}

モモグハ 東國 ソバヲシキ 西國 ノブスマ 古歌 バンドリ ヌレデ 飛州 一名飛鼯^{同州}

雅 飛鼠^{廣輿} 催生^{同上} 催生鼠^{王會} 山鼠^{訓蒙} 松鼠^{同上} 夷嶋^{羅浮山} 飛狴^{同上}